

企画名： 「自然医学放射線防護情報」
実施日時： 2012年1月14日 13:00~14:30
実施場所： パシフィコ横浜会議センター 4F 414+415
登壇者： 橋本俊彦（自然医学放射線防護情報室 代表）
参加人数： 約50名
文責： 渡邊薫（自然医学放射線防護情報室 職員）

震災後から行なってきた自然医学健康相談を通じて見えてきた福島の実況と、健康相談データの集計、今後予測される病気の発症をできる限り少なくする取り組みをパワーポイントを使い30分発表しました。

その後、2カ所に分かれて取り組み活動の具体例として、健康相談のデモンストレーション「簡単にできる免疫力をup法」を30分行ないました。

- LET（ライフエネルギーチェックテスト）を用いて、今の体の状態、その体に合う排泄作用のある葉草などを判別
- アイロンを使った内臓を温める手当て法
- 体のゆがみを治す操体法 など。

最後に15分程度の質疑応答の時間を設け、LETの信憑性、アイロンの電磁波の問題、詳しい手当て法のやり方について、などたくさんの質問を受け、活発な質疑応答の時間となりました。

「このような手当て法があるということを知りました」という声や、今後の講座の依頼なども受けたりと、少しでもこの取り組みの認知度が広がれば、この企画の趣旨・目的を達成できたように思います。

今後福島県内を中心に、様々な理由・事情で福島にとどまる人にむけて、また内部被曝に不安を感じている人にむけて、このような活動を続けていくにあたり、人員も資金も必要です。ボランティア（自然医学指導員「アイロン隊」）を県内外から募り、アイロン隊を養成する講座なども検討することとなりました。

